



「主体的・対話的で深い学び」を実現する校内研修の充実に向けて

8月5日(水)に「令和2年度小中連携による学力向上推進地域指定事業に係る指定校連絡会」をアバンセで開催しました。講師に 大阪教育大学 大学院 連合教職実践研究科 教授 **木原 俊行 氏**をお招きし、演題「『**主体的・対話的で深い学び**』を実現する校内研修の充実」で御講演いただきました。

講演後は、小中学校に分かれて、各校の実践の紹介や、これまでの取組の成果と課題について意見交換を行いました。どのグループも活発な意見交換がなされ、他校の取組を聞くことで自校の取組の参考になったという声が多く聞かれました。

講演の概要と、参加された先生方の感想を以下に紹介します。



講演のポイント

【「主体的・対話的で深い学び」について】

- ・子どもの学力向上のために（授業力をアップさせるために）、校内研修をいっそう充実させていくことが重要である。
- ・校内研修とは、教員同士の学び合いであり、教員間の「主体的・対話的で深い学び」でもある。
- ・今、求められる学習指導は、「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」である。
- ・「主体的な学び」では、実験・観察、レポート作成や論述、プレゼンテーション等が大切である。
- ・「主体的な学び」とは、子どもたちの身体の動きを伴うことが望ましい。可能であれば、それを複線化、多様化できるようにしていくことが重要である。
- ・「対話的な学び」では、まずは、小さい単位での学び合いを大事にするのがよい。
- ・「対話的な学び」として、対話のパートナーが連続発展するジグソー法（複線化）がある。エキスパート学習→ジグソー学習→クロストークセッションという3つの場面で対話の相手を変えたり、広げたりすることで、「対話的な学び」×「思考力・判断力・表現力等の育成」として使われている。
- ・「深い学び」の実現には教材の工夫が重要である。これに資する教材には、生活体験、地域社会、社会のリアル、エンターテインメント（※講師資料表記のまま）、合科的の5つ特徴がある。

【校内研修の充実について】

- ・研究テーマは、視点化して具現化するとよい。（どのようなことをすることで育成を図る子どもたちの学力が高まるかを場合分けする、研究テーマをかみ砕いた4、5つ程度の押さえどころを用意する等）
- ・組織は、教員同士の交わりが多様化するように組織を組むとよい。（専門部会を設けたり、経験年数が近いチームや若手・中堅・ベテランのチームを設定したり等）
- ・他校の授業研究等に参加し、多様な授業を見て学ぶことも必要である。（テレビ会議システム等の活用も考える）
- ・研究授業では、その人なりの挑戦（チャレンジ）が大切である。
- ・研究授業後の協議の最後に「自分化」のタイムや場面を設け、各教員が授業研究で学んだことを自分の指導に落とし込んだ振り返りをするのが大切である。
- ・教師が自分たちの実践記録を書き、それをテキストとして、年度をこえて学び合うことも大切である。

参加者の感想

- ・新学習指導要領の内容を分かりやすく解説していただき、主体的・対話的で深い学びの授業づくりのイメージがもてた。
- ・「研究授業はその人なりの挑戦が大切」という言葉が印象に残った。これまでのやり方に固執せず、新しいことにどんどん挑戦する研究を心がけていきたい。
- ・“自分化”“自校化”という言葉が印象に残った。自分（学校の子ども）のこととして、できることを見据え、教職員が一丸となって学力向上に向けた実践を積み重ねていきたい。
- ・教師も学びの主体者として試行錯誤を楽しめるよう、自分でできることを実践していきたい。

小中連携による学力向上推進地域指定事業の公開授業の予定

今年度の「小中連携による学力向上推進地域指定事業」における公開授業は、感染症の影響等を考慮し、基本的に各中学校区内での公開としています。9月以降の公開授業実施（予定）について紹介します。今後、研究実践の様子については、随時、学力向上だよりでお知らせしていく予定です。

9月10日現在

9月 9日（水）	山代西小	11月 20日（金）	大良小、大浦小、西唐津中
11日（金）	有田中	25日（水）	基山小、嬉野小
23日（水）	轟小	26日（木）	長松小
24日（木）	思斉小	27日（金）	竹木場小、高峰中
30日（水）	山代東小	12月 予定	大草野小、大浦中
10月 1日（木）	基山中、松浦小	1月 29日（金）	山代中
6日（火）	山代東小	1月 予定	諸富北小、諸富南小、山代西小
12日（月）	第一中		
14日（水）	東原彦舎中央校	【研究協力校】	
15日（木）	山代西小	佐賀大学教育学部附属小学校	対象者限定研修会
21日（水）	基山小、若基小、山代東小	11月 12日（木）	指定校、十年経験者の先生
23日（金）	切木小、有田中部小	26日（木）	初任者、教職3年目までの先生
28日（水）	山代西小		
11月 4日（水）	基里小、思斉中、東陵中	佐賀大学教育学部附属中学校	研究協議会
5日（木）	基山中	（オンライン）	11月 7日（土）
6日（金）	大川小		
10日（火）	諸富中	◎ 公開授業についての詳しい日程等については、	
11日（水）	若基小、大志小	各学校にお問い合わせください。	
13日（金）	基里中、基里小		
13日（金）	玄海みらい学園、有田小		
18日（水）	山代東小		
19日（木）	西唐津小		

校内研修の充実に向けた取組のヒントがつまっています！



C²-TIME

567890123456789012345678901278901234

令和2年度がスタートして、半年が過ぎました。先日は、学校質問紙及び児童生徒質問紙のご提出ありがとうございました。ところで、みなさんは児童生徒質問紙の(1)(2)(3)は、どんな質問なのかご存じですか？

正解は・・・ 「早寝」「早起き」「朝ごはん」についての質問です！

家庭と連携をしながら基本的な生活習慣を整えることで、児童生徒は集中して授業に臨むことができるようになり、学力向上や落ち着いた生活につながるものと思います。簡単ではない部分もあるかと思いますが、粘り強く声掛けをしていきましょう。

※ C²とは Continue（継続）と Complete（徹底）の頭文字です。